

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語Ⅲ A
科目基礎情報						
科目番号	0052		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	4		
教科書/教材	My Way English CommunicationⅡ New Edition (三省堂), Workbook, 夢をかなえる英単語 新ユメタン (1) (アルク), Zoom総合英語 改訂版 (第一学習社), The King of Love (OUP), ウィズダム英和辞典(三省堂)					
担当教員	アニス ウル・レーマン,鞍掛 哲治					
到達目標						
英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文や発表ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	基本的な到達レベルの目安(可)		
語彙		体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標2～6の理想的な到達レベルの中で活用することができる。	教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。	教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できない。		
聞く		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を行うことができる。	与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。	与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		
読む		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を行うことができる。	与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。	与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		
書く		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を口頭で行うことができる。	与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができる。	与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができない。		
話す		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を記述で行うことができる。	与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文すること)ができる。	与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文すること)ができない。		
発表する		到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用し、与えられた課題や場面にについて自分の考えやまとめたことを他者に向けて発表することができる。	到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができる。	到達目標1から6で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	後期開講の英語ⅡBと共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英語ⅡBへ引き継がれる。					
授業の進め方・方法	理解した内容や今までに学んだスキルを活かして発表や発信するための力につなげるため、授業の中において聞く・読む・話す・書くとう4つの技能を統合的に高めていくために必要な活動を行う。聞く・読む活動や文法、表現についての学習と理解を踏まえ、グループやペア、個人での調べ活動、話し合い、発表等を含んだタスクを行う。					
注意点	予習・復習を十分に行之、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の殆どは英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	本科目の目標、評価、授業の進め方、自宅学習の仕方等について理解する		
		2週	Lesson 07 Section 1 / Lesson 08 Section 1	Lesson 07 Section 1 / Lesson 08 Section 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		3週	Lesson 07 Section 2 / Lesson 08 Section 2	Lesson 07 Section 2 / Lesson 08 Section 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		4週	Lesson 07 Section 3 / Lesson 08 Section 3	Lesson 07 Section 3 / Lesson 08 Section 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		5週	Lesson 07 Section 4 / Lesson 08 Section 4	Lesson 07 Section 4 / Lesson 08 Section 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		6週	Lesson 07 & 08 Comprehension & Self Expression	Lesson 07：平和への願いをこめた歌詞の意味を理解し、英語で感想を表現することができる。 Lesson 08：言語接触によって生まれた言語について理解し、ことばの大切さを英語で表現することができる。		
		7週	Lesson 07 & 08 Grammar & Exercises	Lesson 07：助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / wouldを使った表現/ 完了不定詞 の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 08：仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わない仮定法 / no matter+疑問詞 の使い方を理解し、正しく使用することができる。		

		8週	Lesson 07 & 08 Wrap Up	Lesson 07 & 08 で学習した項目を整理し、理解を深めることができる。
	2ndQ	9週	Lesson 09 Part 1 / Lesson 10 Part 1	Lesson 09 Part 1 / Lesson 10 Part 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		10週	Lesson 09 Part 2 / Lesson 10 Part 2	Lesson 09 Part 2 / Lesson 10 Part 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		11週	Lesson 09 Part 3 / Lesson 10 Part 3	Lesson 09 Part 3 / Lesson 10 Part 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		12週	Lesson 09 Part 4 / Lesson 10 Part 4	Lesson 09 Part 4 / Lesson 10 Part 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		13週	Lesson 09 & 10 Comprehension & Self Expression	Lesson 09：このスピーチを通して平和とは何かを考え、英語でショートスピーチができる。 Lesson 10：東洋と西洋の建造物の違いについて認識し、その違いについて英語で説明できる。
		14週	Lesson 09 & 10 Grammar & Exercises	Lesson 09：分詞構文（現在分詞、過去分詞） / 完了形の分詞構文 / 付帯状況のwith の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 10：同格のthat / 倒置 / 省略 / 強調構文 の使い方を理解し、正しく使用することができる。
		15週	Lesson 09 & 10 Wrap Up	Lesson 09 & 10 で学習した項目を整理し、理解を深めることができる。
		16週	試験答案の返却・解説	試験において誤った部分を理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭に聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	平常点	態度	合計
総合評価割合	70	30	0	100
目標達成度	70	30	0	100